

(仮訳)

2022年8月5日

日米豪閣僚級戦略対話

アントニー・ブリンケン米国国務長官、ペニー・ウォン豪州外務大臣、林芳正日本国外務大臣は、第55回ASEAN外相会議に際し、プノンペンにおいて、会合を行った。

三閣僚は、自由で開かれたインド太平洋地域を推進させるため、日米豪三か国のパートナーシップを深化させることへのコミットメントを表明した。彼らは、このパートナーシップが、自由、法の支配、人権、主権及び領土の一体性、武力による威嚇又は武力の行使によらない紛争の平和的解決、航行と上空通過の自由を含む、共通の利益と価値という揺るぎない基礎に依拠することを強調した。三閣僚は、ASEANの中心性を支持していく決意及び地域におけるパートナーとしての太平洋島嶼国の重要性を再確認した。

三閣僚は、台湾海峡の平和と安定の維持へのコミットメントを再確認した。また、三閣僚は、台湾海峡における緊張緩和の重要性に関するASEANの声明を評価した。三者は、誤算による危険性を回避するための外交を求める地域の願望を共有する。三閣僚は、大規模な軍事演習の実施を含む、国際的な平和と安定に深刻な影響を与える中国の最近の行動に対する懸念を表明した。三閣僚は、日本の排他的経済水域内に5発が着弾したと日本政府が報告した中国の弾道ミサイルの発射が、緊張を高め、地域を不安定化しているとして非難した。三閣僚は、中国に対し、軍事演習の即刻中止を求めた。日本、米国、豪州各国の一つの中国政策（該当する場合）と台湾に関する基本的立場に変更はない。

(了)